

JISA 関西地区会 開催報告

令和 7 年 2 月 12 日（水）、ホテルグランヴィア大阪において令和 6 年度関西地区会 2 月例会が開催された。参加者は関係者含め 33 名。



JISA 副会長
長坂 正彦氏

冒頭、JISA 副会長（株）ワイ・シー・シー代表取締役社長）長坂正彦氏が、「JISA は昨年、設立 40 周年を迎え、40 周年記念事業として、秋に ASOCIO デジタルサミットを日本で開催した。イベントのホスト国開催を通じてアジア諸国に一定の存在感が示せたと思う。新年には賀詞交歓会を開催。多くの人に参加し、JISA 活動の盛り上がりを実感した。一方、国からは適正取引や価格転嫁の度重なる要請があり、JISA でも自主行動計画を改定し、フォローアップ調査を実施。調査の本年度回答率は 14%。発注者と受注者に認識のギャップが見られる点もあるため、今後も良好な取引関係の構築にご配慮いただきたい。産業の価値向上に向け、個人の力量を高め、企業も鍛えることが肝要。社会課題に向き合い、JISA では生成 AI の進展に前向きな提言を発信している。今後も JISA 活動への積極的な参加と大阪万博の開催を通じた地域の活性化を祈念している」と挨拶した。

また、進藤一英氏（コンピューターマネジメント(株)）が JISA 関西地区会事務局報告として、本年度開催した関西地区会の概要と例年行っている採用活動の支援、地域情報団体との連携活動について述べた。

講演では、ジュゼッペ小林氏（イマリパートナーズ ゼネラルパートナー）が、「経営者視点で考えるサイバーセキュリティー」をテーマに、日本とシリコンバレーでの様々な経験を踏まえ、10 のポイントを提唱した。日本で起こりがちな性善説に基づく不注意な事故を防ぐためには、鵜呑みにせずに考える従業員の習慣づけが重要であり、セキュリティ人材が不足している中で、セキュリティサービス会社等のプロフェッショナルとの連携が必要と述べた。



アイテック阪急
阪神(株)
常務執行役員
IT 統括本部長
大西 勝之氏

講演会の後は懇親会が行われ、大西勝之氏（アイテック阪急阪神(株)）の中締めにより、盛会のうちに閉会した。

（JISA 事務局）